



2009年5月14日

各位

会社名 : 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション
代表者 : 代表取締役社長 依田 誠
コード番号: 6674
連絡先 : 執行役員 広報室長 西田 啓
(TEL 075-312-1214)

第二次中期経営計画（2010～2012年度）のお知らせ

～環境対応型社会に貢献するグローバル企業を目指して～

当社グループの第一次中期経営計画（2006～2008年度）は、円高の影響を受けたため最終年度の経常利益は計画目標に達しませんでした。当初の経営目標は、概ね達成することができたと評価しております。また、2009年度の当社事業の見通しは、2008年度秋から深刻さを増した世界経済の影響により、誠に不透明な状況にあります。このような事業環境を踏まえ、2009年度は事業基盤を固め、成長への準備を進め、第二次中期経営計画につなぐ単年度計画（ブリッジ・プラン 2009）とし、第二次中期経営計画は2010年から2012年の3ヵ年といたします。

第二次中期経営計画の期間中、わが国においては、自動車生産の減少や設備投資の抑制はなお継続し、少子高齢化や人口減少による消費の停滞が継続する厳しい事業環境になるとみられます。当社グループは、このような厳しい事業環境に対応できるよう、確実に合理化、効率化を進め、事業のモニタリングを強化し、迅速な意思決定をいたします。

その一方で、この3ヵ年は地球温暖化問題、エネルギー問題を背景とした環境対応型社会への変革期でもあります。自動車分野においては電気自動車（以下、EV）、ハイブリッド車（以下、HEV）が普及し、ガソリン車ではアイドリングストップなどの燃費向上技術が求められています。また、産業分野においては国内外で、省エネルギー製品の普及や新エネルギーの導入が進んでおります。

当社グループが長年培ってきた電池・電源技術は、来るべき環境対応型社会を拓くための最も重要な技術のひとつです。当社グループは、社会の期待に応え、企業理念に掲げる「革新と成長」のもと総力を上げて第二次中期経営計画の実現に取り組んでまいります。環境対応型社会に貢献するグローバル企業を目指して「第二次中期経営計画（2010～2012年度）」を策定いたしましたので、以下の通りその内容をお知らせいたします。

I. 第一次中期経営計画の評価

第一次中期経営計画の最終年度である 2008 年度は、世界的に景気が後退する厳しい事業環境となりましたが、中期計画の当初経営目標を概ね達成することができました。

事業戦略課題にあげておりました、国内自動車電池を始めとする既存事業は、収益基盤の改善を実現いたしました。また、アジア地域を中心とする海外事業を強化したことにより、海外事業が、売上高の拡大や利益改善に貢献いたしました。

一方で、将来の事業成長に向けて車載用リチウムイオン電池事業においては、世界に先駆けて電池を量産するため、2007 年 12 月、三菱商事株式会社、三菱自動車工業株式会社と EV 用リチウムイオン電池の合弁会社、株式会社 リチウムエナジー ジャパンを、2009 年 4 月、本田技研工業株式会社と HEV 用リチウムイオン電池の合弁会社、株式会社ブルーエナジーを設立いたしました。

表－1 第一次中期経営計画目標と実績比較

	2005 年度 実績	2008 年度 計画	2008 年度 実績	2005 年度比
売上高	2,351 億円	2,600 億円	2,834 億円	121%
営業利益	52 億円	130 億円	142 億円	273%
経常利益	46 億円	120 億円	109 億円	237%

II. 第二次中期経営計画の概要

1. 経営方針

- ◇ 社会・環境に貢献しステークホルダーから高い支持を得る
- ◇ リチウムイオン電池事業を基幹事業の一翼を担う成長事業へ育成する
- ◇ グローバル企業として高収益企業グループを形成する

(1) 計画期間

2010 年 4 月から 2013 年 3 月までの 3 年間

(2) 経営目標（最終年度 2012 年度目標値）

売上高	3,500 億円
営業利益	200 億円 (5.7%)
経常利益	200 億円 (5.7%)
ROE (株主資本利益率)	10% 以上
営業キャッシュフロー	200 億円以上

2. 重要戦略課題

第二次中期経営計画では、第一次中期経営計画の成果を経営基盤として、長期的な成長へ大きく踏み出す経営目標を実現するために、次の4点を重要戦略課題といたします。

- (1) リチウムイオン電池事業の育成
 - ・EV用電池事業の事業化
 - ・HEV用電池事業の事業化
 - ・大型リチウムイオン電池事業の拡大
- (2) 海外事業の拡大
 - ・中国・アジアを中心とする自動車電池事業の拡大
 - ・地域ニーズに適した新商品の開発と市場投入
 - ・新エネルギー事業のグローバル化
- (3) 既存事業の収益力強化
 - ・次世代新製品の開発
 - ・国内産業電池電源事業における収益基盤の維持強化
 - ・国内自動車電池事業の安定的な利益確保
- (4) グループ全体の経営課題の実践
 - ・コンプライアンス体制の強化
 - ・事業経営のモニタリング強化と迅速な意思決定
 - ・省資源、省エネルギーによる環境貢献

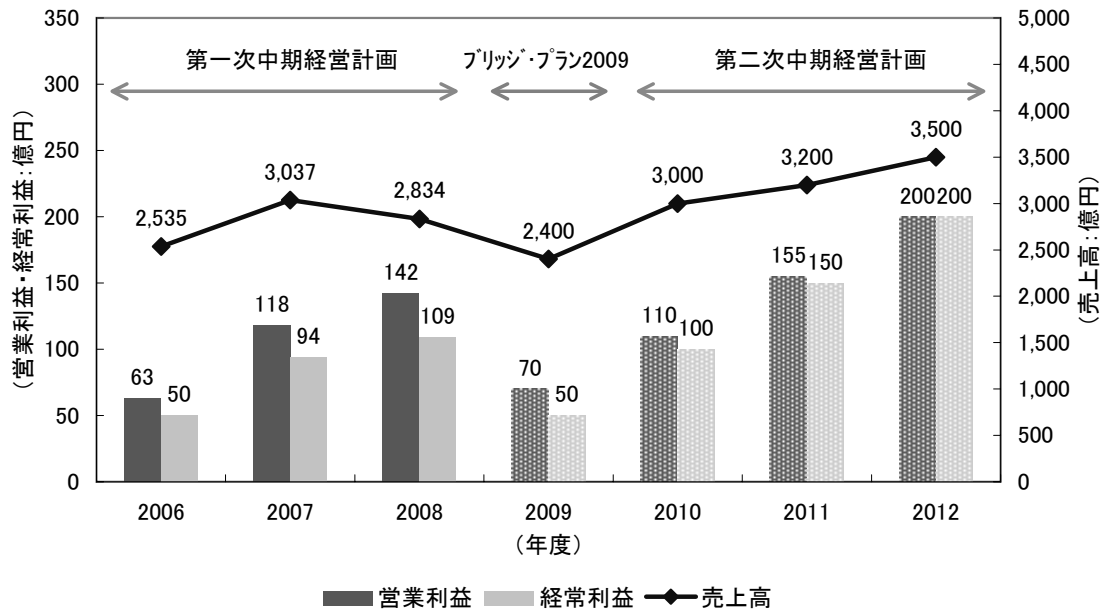
3. 投資計画（2010～2012年度）

	累計投資額
リチウムイオン電池事業	500億円
海外事業	100億円
国内既存事業等	150億円
合計	750億円

以上

第二次中期経営計画の概要

1. 業績と経営目標



2. 経営目標 セグメント別

(単位: 億円)

	電池および電源				照明	その他	計	消去・ 全社	連結計
	国内		海外	小計					
	自動車 電池	産業電池 電源装置							
2008年度									
売上高	671	655	1,261	2,589	89	155	2,834	0	2,834
営業利益	15	98	51	165	0	△ 6	159	△ 16	142
2012年度 (第二次中計 最終年度目標)									
売上高	600	650	1,550	2,800	100	600	3,500	0	3,500
営業利益	25	90	80	195	5	25	225	△ 25	200

※ 2012年度 その他セグメント 売上高 600億円のうち、リチウムイオン電池事業は 400億円を計画